

施工業者様用〈施工説明書〉 セットオン階段

特許登録済

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

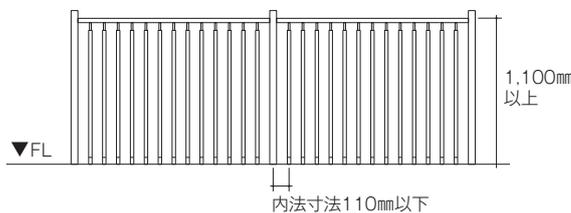
施工に際して以下の警告・注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



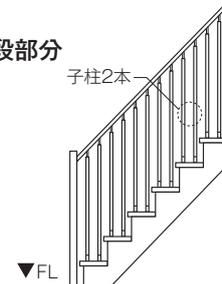
警告!

- 躯体の強度を確保してください。
階段が取り付け位置には、十分な強度のある柱・間柱・胴縁や梁・大引などの下地があることを確認してください。
- 子柱は、子供がすり抜けないように踏板で使用する場合は2本、2階ホール等に使用する場合は内法110mm以下で取り付けてください。
- 2階ホールの手すりの高さは1,100mm以上としてください。

■2階ホールなど



■階段部分



- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。



注意!

- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- 開梱後は換気を行ってください。本製品は、ホルムアルデヒド・VOC（揮発性有機化合物）対策品ですが、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすいため、換気を行うようにしてください。
- 階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
- 手すりは踏面から750~800mmの高さに取り付けてください。
- 手すりは連続して取り付けてください。

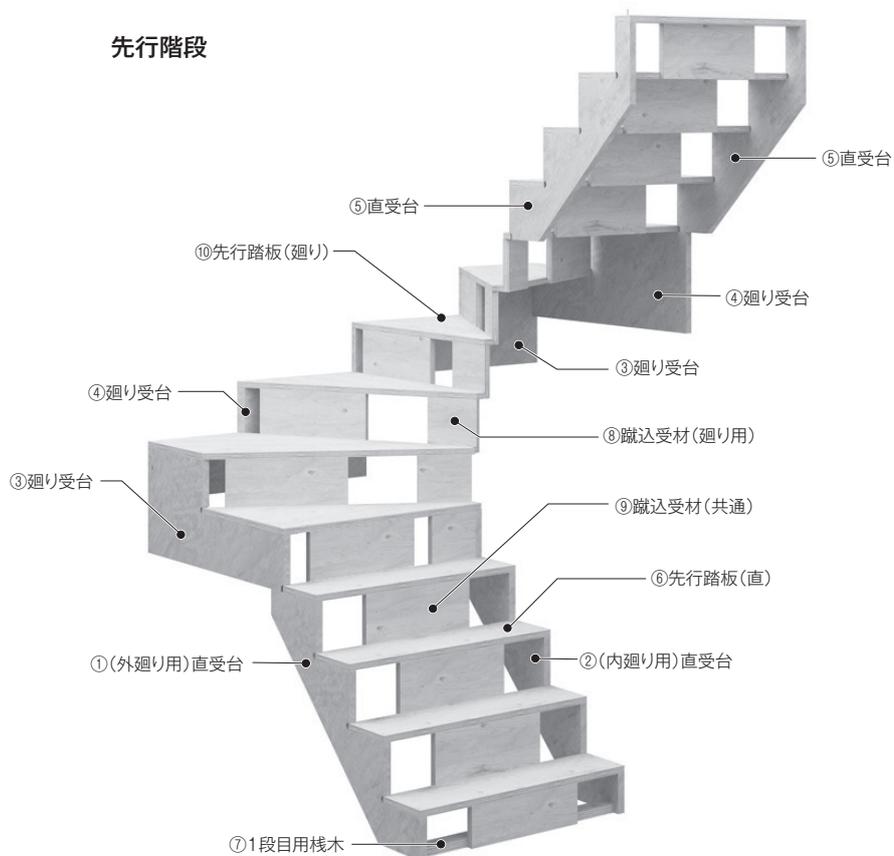
お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

- ・ 固定に使用される木ビスは、市販のコーススレッド等の保持力の高いものをご使用のうえ、固定がしっかりなされているかを確認しながら施工を進めてください。細ビス等を使用される場合は本数を増やす等にて保持力の確保を確認しながら施工してください。
- ・ 本製品は通常のプレカット階段に比べ強度的に向上する構造となっておりますが、たわみによるクロス切れや踏鳴り等の問題を補償するものではありません。施工現場の状況により、踏板（廻り踏板）の下部へ栈木等で補強を行うようにしてください。
- ・ 化粧部材を取り付けるまで、本施工説明書を捨てないでください。

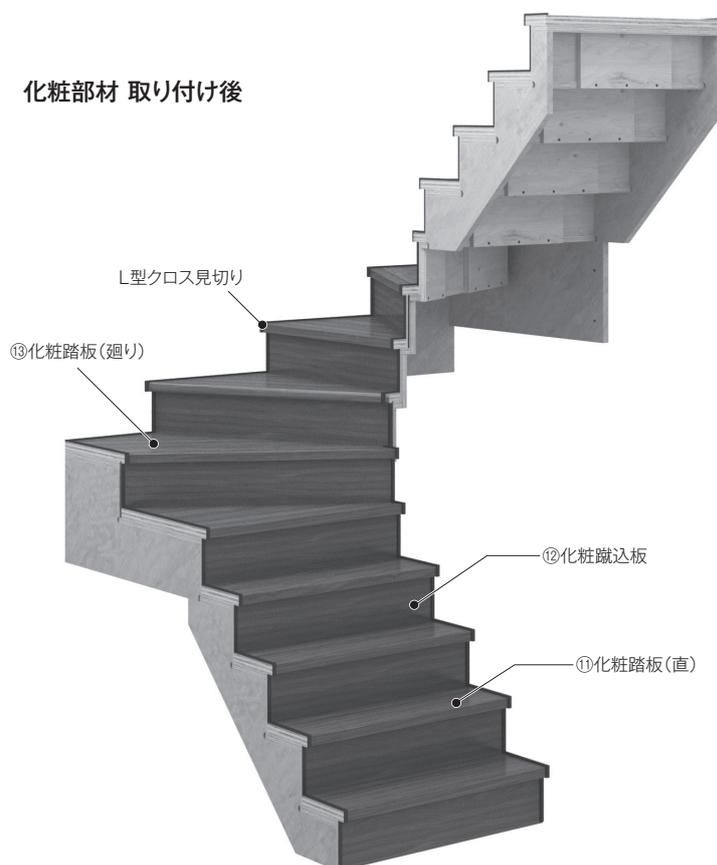
完成イメージ

先行階段を組み立てた後、他の内装工事を進めてください。
内装工事終盤に、化粧階段を取り付けてください。

先行階段

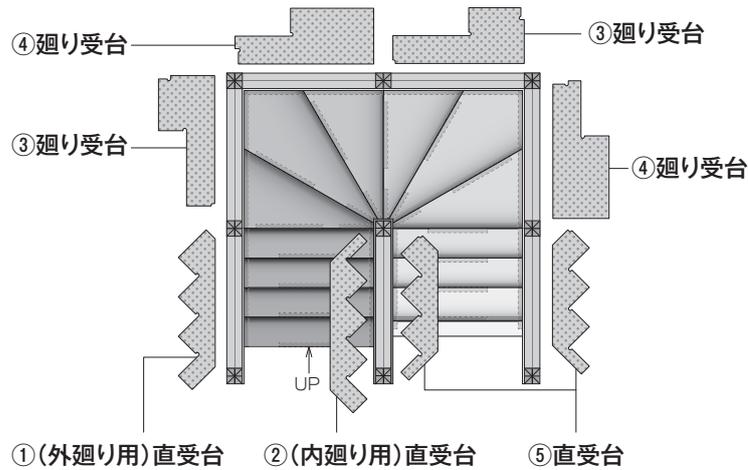


化粧部材 取り付け後



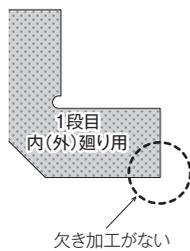
部材図

●受台 厚さ23mm

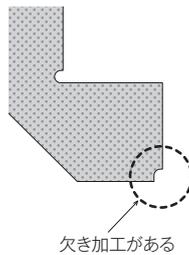


直受台の違い 上記平面図の場合の使用部材となります。(直4段・右廻6段・直3段 上がり切り14段)

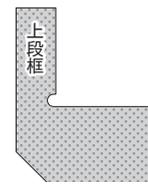
●1段目～の直受台



●廻り階段・踊り場と接続する直受台



●上段框部分の直受台



●先行部材

⑥ 先行踏板 直階段用

厚さ24mm
クリアランス設定: 両側2mmずつ



⑦ 1段目用栈木

30mm×60mm



●化粧部材

踏板厚30mm、36mm

⑪ 化粧踏板 直階段用

クリアランス設定: 両側1mmずつ



⑫ 化粧蹴込板 直階段、廻り階段用

厚さ5.5mm



⑧ 蹴込受材(廻り用) 廻り階段内側用

厚さ22mm~24mm



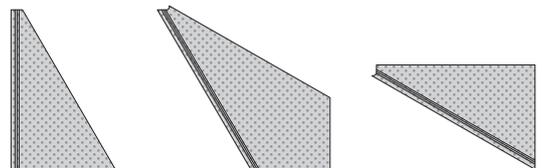
⑨ 蹴込受材(共通) 直階段、廻り階段用

厚さ22mm~24mm



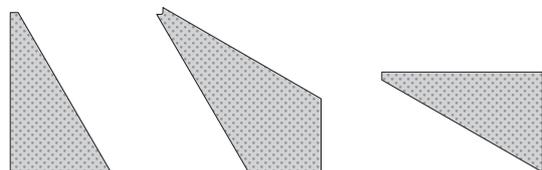
⑬ 化粧踏板 均等3段廻り

クリアランス設定: 両側1mmずつ



⑩ 先行踏板 均等3段廻り

厚さ24mm
クリアランス設定: 軸側柱より4mm



※踏板厚30mmは一部の樹種のみ対応となります。

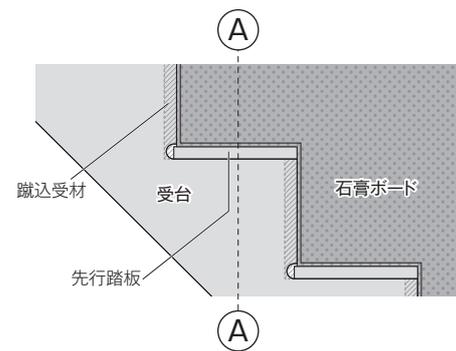
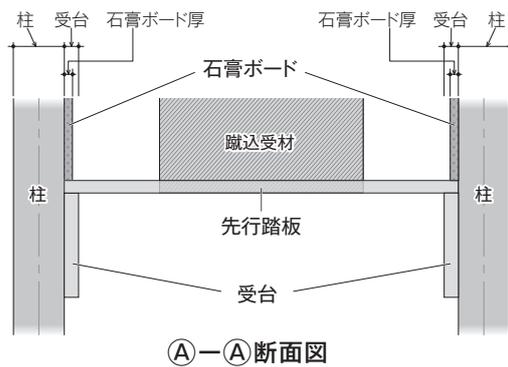
受台の取付パターン

※受台取付パターンの違いにより、受台の加工寸法が異なります。
必ず納まりを確認の上、取り付けてください。

柱に受台を直付けする場合

- ・で描かれた部分が石膏ボード施工部分となり、階段の形状に沿って石膏ボードのカットが必要になります。
- ・先行踏板寸法は、「柱内々寸法 - クリアランス寸法」となります。
- ・先行階段を取り付けた後に石膏ボードを施工する手順です。

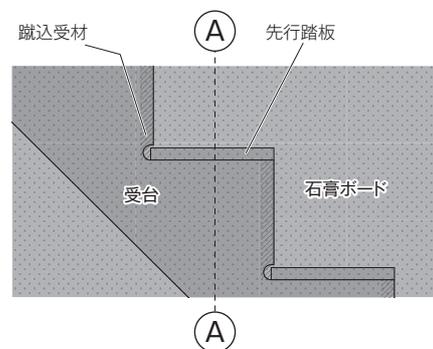
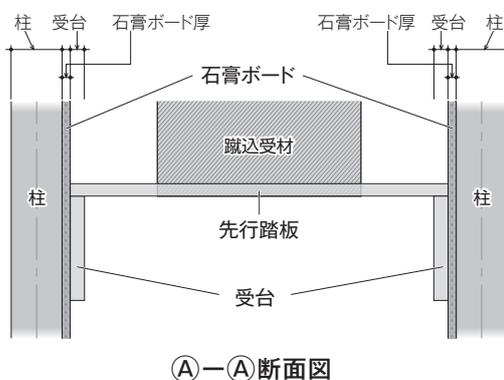
発注寸法	先行部材: 柱に取付(柱直付け)
	化粧部材: 石膏ボード上から取付(石膏ボード厚指定)



石膏ボード施工後に受台を取り付ける場合(石膏ボード先貼り施工) ※省令準耐火 基準対応

- ・で描かれた部分が石膏ボード施工部分となり、受台側板を取り付ける前に石膏ボードを施工します。
- ・先行踏板寸法は、「柱内々寸法 - (石膏ボード厚×2) - クリアランス寸法」となります。

発注寸法	先行部材: 石膏ボード上から取付(石膏ボード厚指定)
	化粧部材: 石膏ボード上から取付(石膏ボード厚指定)



先行階段の取付

手順

1

躯体精度の確認

先行階段の取付作業を行う前に、躯体精度にずれ等がないかを確認してください。
ずれ等がある場合は、その誤差が2mm以下となるよう調整してください。

手順

2

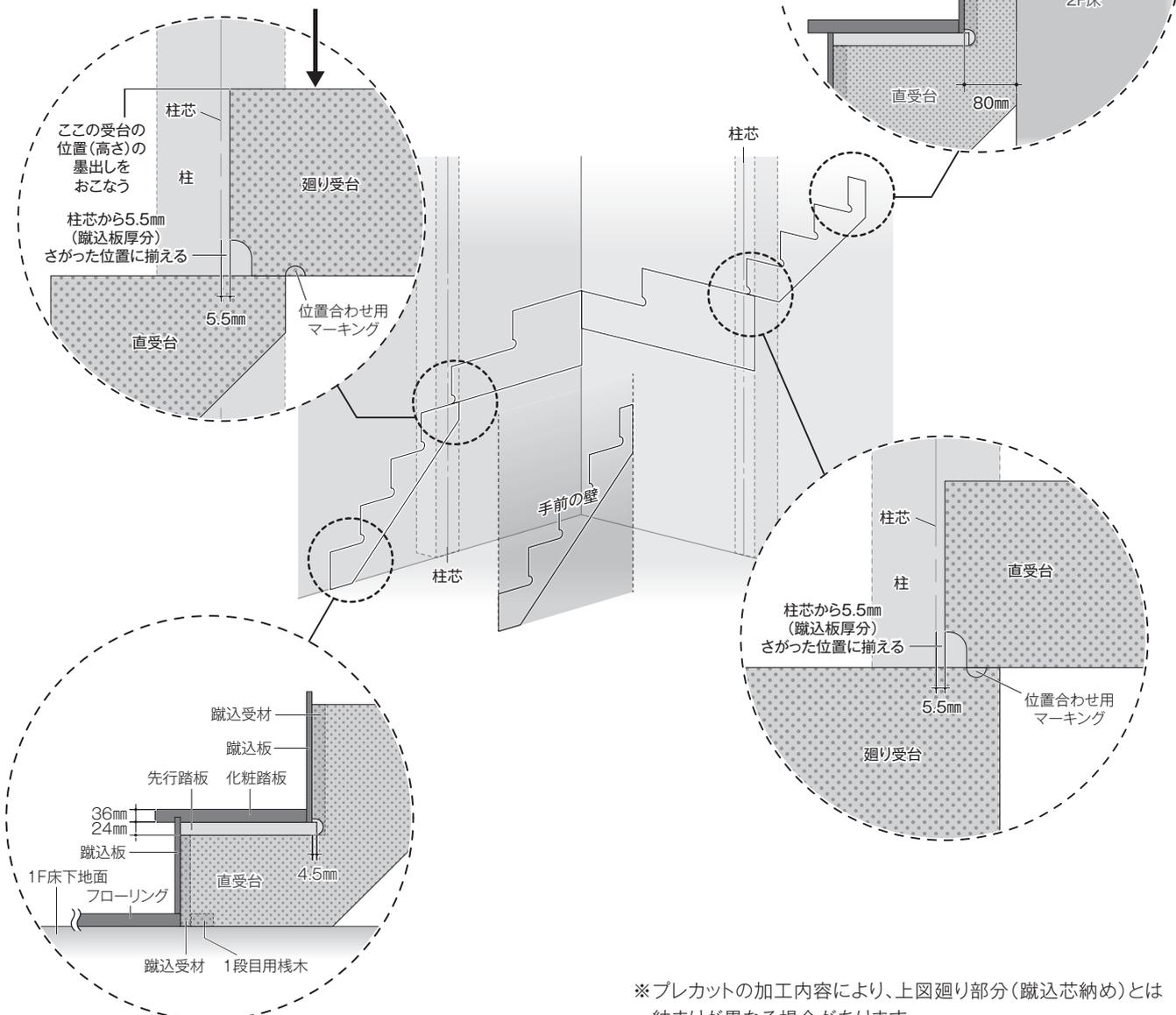
廻り受台と直受台の取付位置の墨出し

廻り受台から取付位置の墨出しを行ない、直受台は廻り受台の位置合わせ用マーキングを目安に取付位置を決定していきます。

※路面、蹴上げ寸法は現場にてご確認ください。

**蹴上げ寸法×段数－(化粧踏板厚+先行踏板厚24mm)＋
下階フローリング板厚**

例えば、蹴上げ寸法200mm、化粧踏板厚36mm、下階フローリング板厚12mmの場合、
仮に5段目の受台の上端位置を墨出しするには、
 $200 \times 5 - (36 + 24) + 12 = 952$
床下地から952mmの位置に墨出しをする。



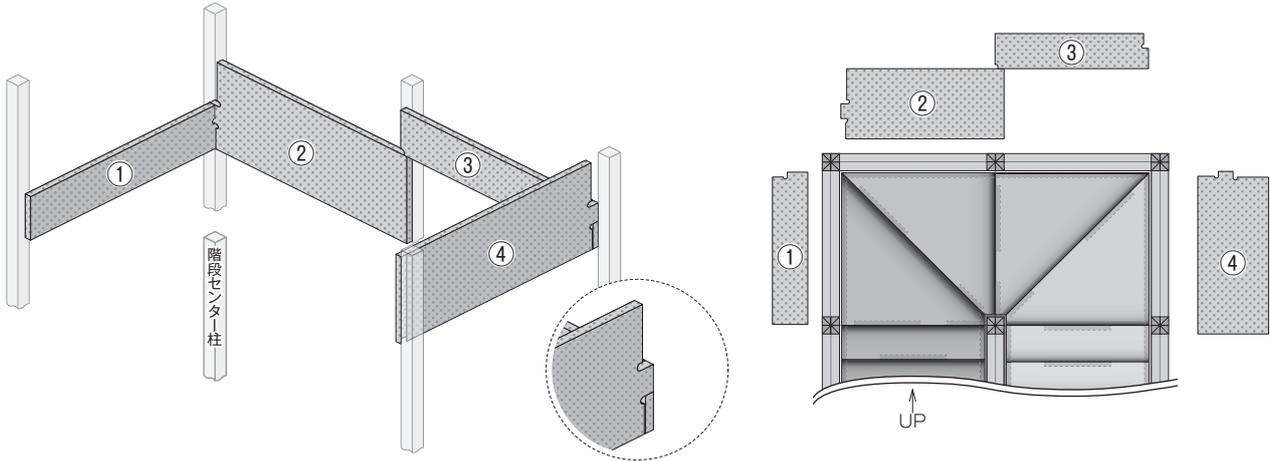
※プレカットの加工内容により、上図廻り部分(蹴込芯納め)とは納まりが異なる場合があります。

3

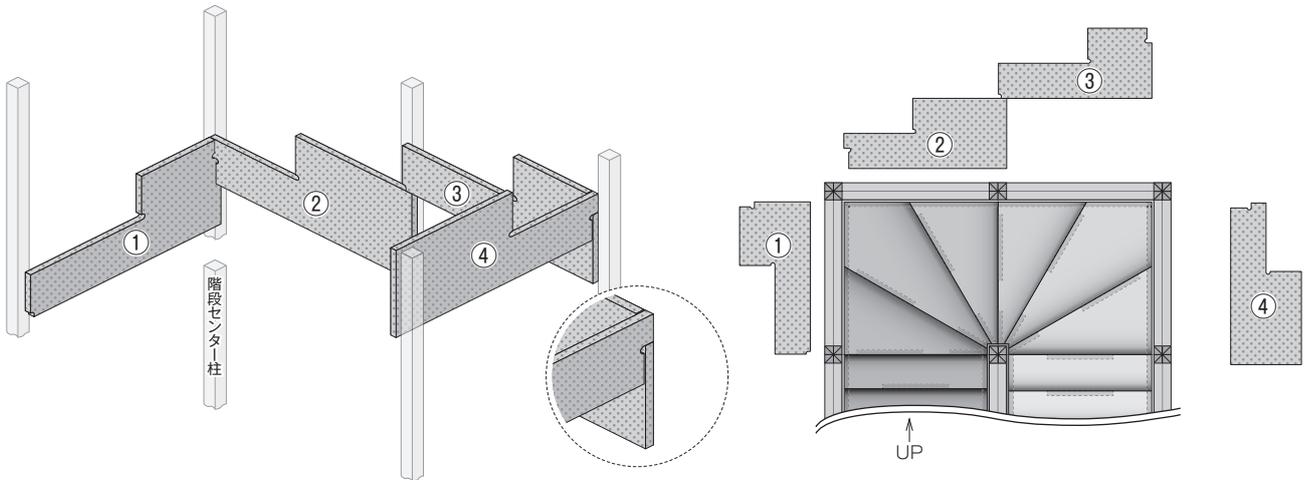
廻り受台（踊り場）の取付

墨出し位置に従い、受台を躯体（柱・間柱）へ固定します。あらかじめ、コーナー部に36mm角以上の垂木（現地調達品）を取り付けてください。（P.7の「コーナー部分の廻り受台の取付について」をご参照ください。）

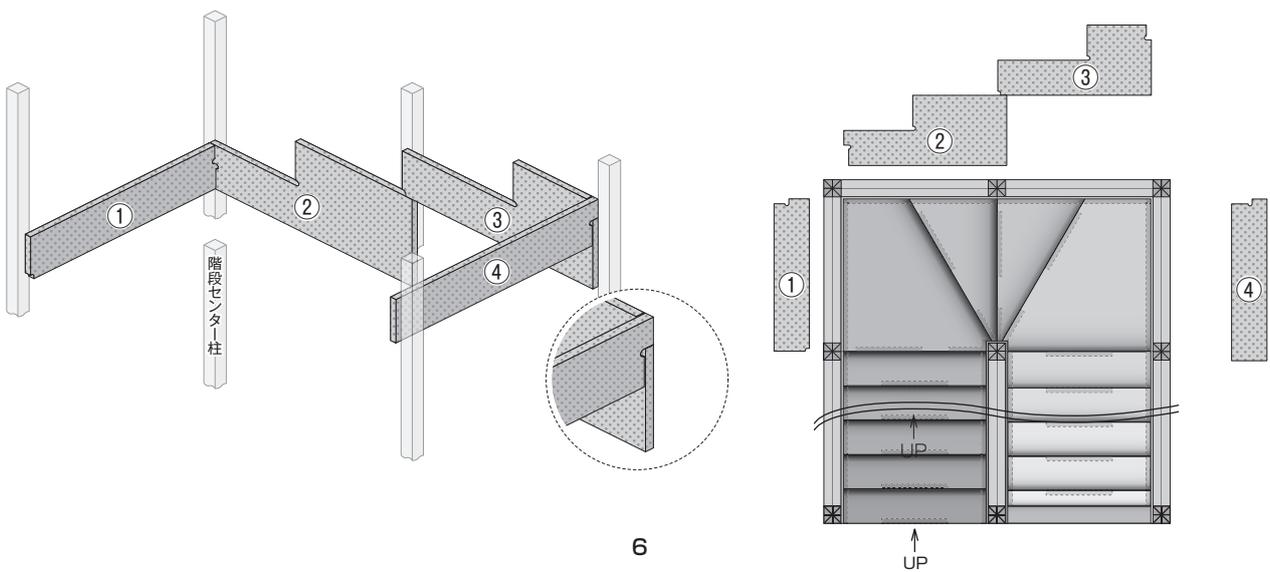
●2段廻り



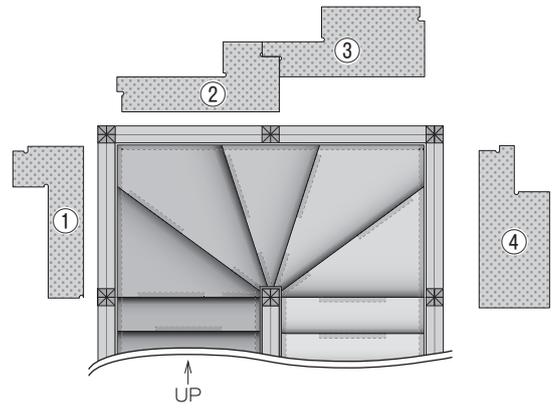
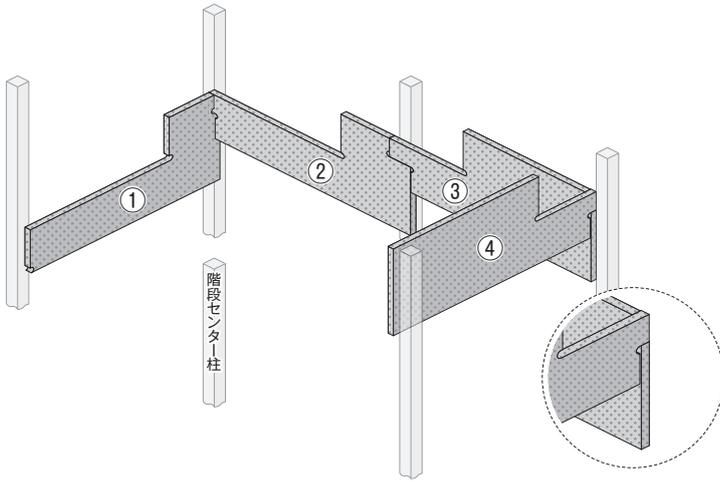
●3段廻り



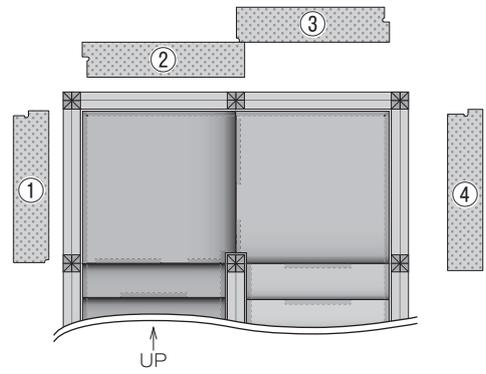
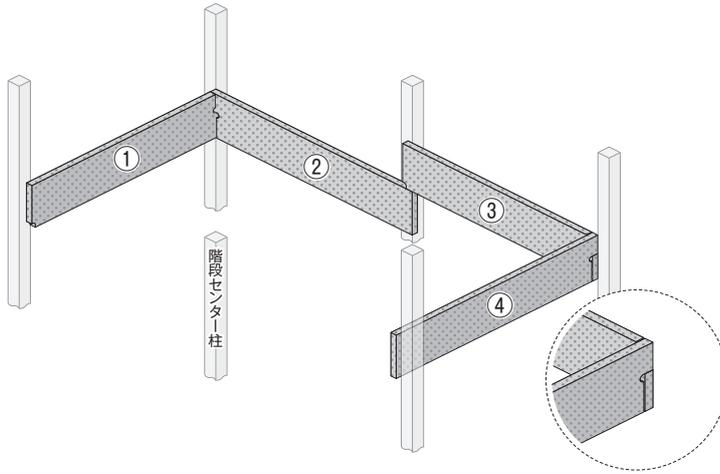
●バリアフリー2段廻り



●5段廻り

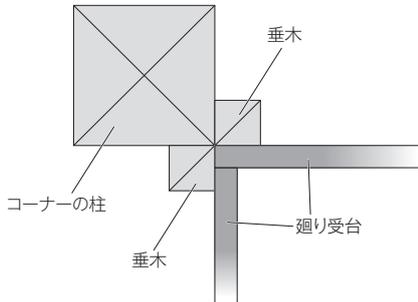


●踊り場

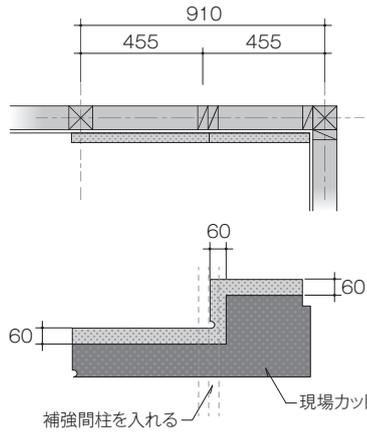


●コーナー部分の廻り受台の取付について

コーナーの柱に廻り受台を取り付ける際は36mm角以上の垂木を現場調達してください。



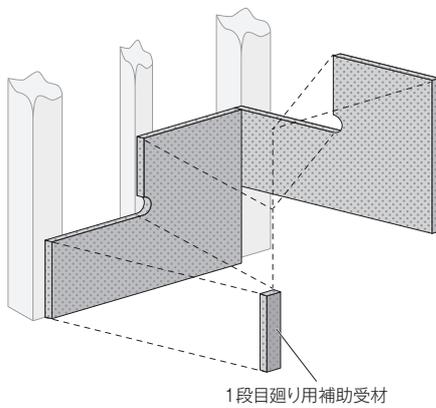
●階段下に窓などの開口部がある場合



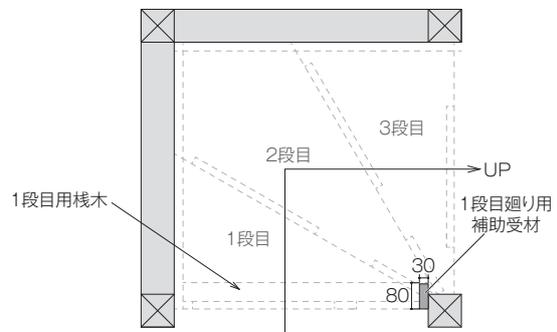
階段下に窓や開口部があるために受台を欠き込まなければならない場合は、最低でも60mm以上は受台の厚みを残すようにしてください。

⚠ 注意
上記の寸法が確保されていない場合、階段の強度に影響を及ぼす場合があります。

●1段目が廻り階段から始まる場合

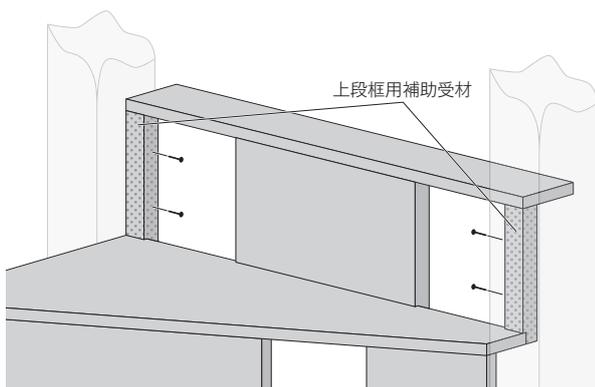


廻りで始まる階段の補助受材の取付位置

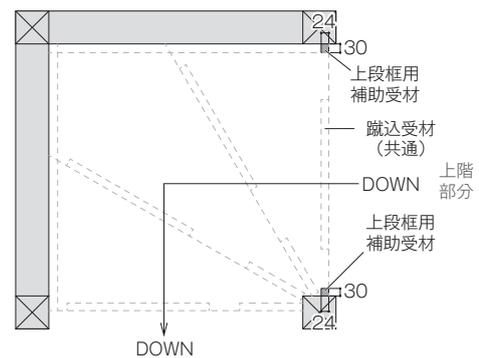


1段目廻り用補助受材は、1段目の蹴込受材と面一にして取り付けてください。

●廻り階段で上がり切る場合(上段框用受材)



廻りで上がり切る階段の補助受材の取付位置

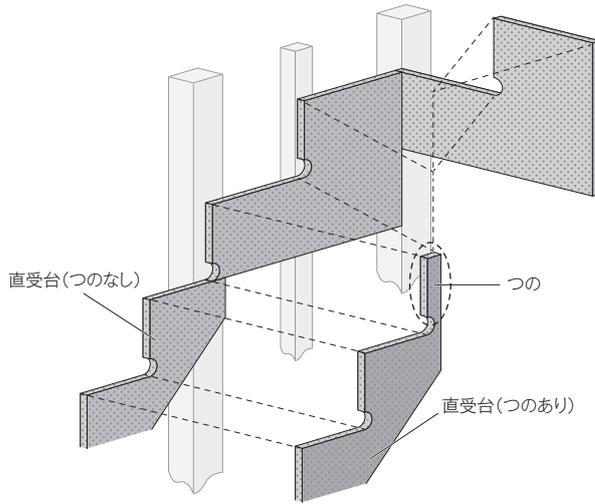


上段框用補助受材は正方形ではありません。上図と同じ向きで取り付けてください。

4

直受台の取付

・受台を躯体へ固定します。



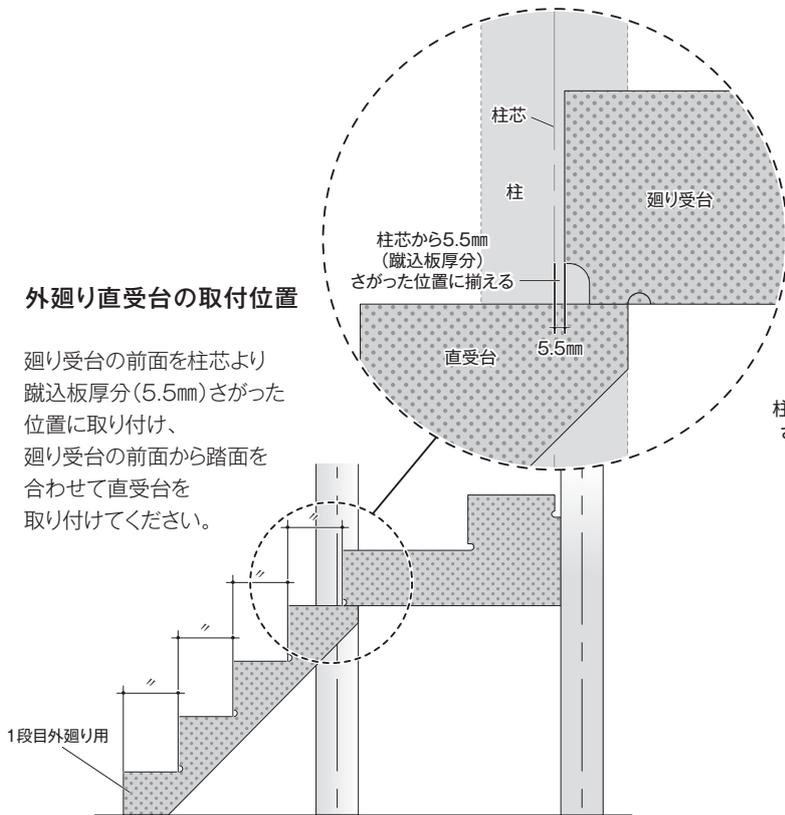
1段目~廻り受台までの直受台は、内側と外側で直受台の形状が異なりますので、ご注意ください。

⚠ 注意

直受台の「つの」のある方を内廻りの直受台として取り付けてください。

外廻り直受台の取付位置

廻り受台の前面を柱芯より蹴込板厚分(5.5mm)さがった位置に取り付け、廻り受台の前面から踏面を合わせて直受台を取り付けてください。



内廻り直受台の取付位置

柱芯から5.5mmさがった位置

つのありの直受台

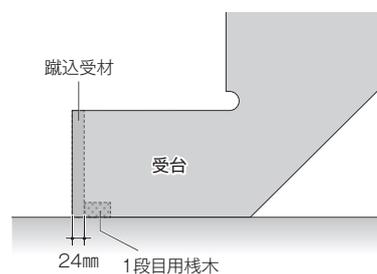
1段目内廻り用

直受台の「つの」の前面を柱芯より蹴込板厚分(5.5mm)さがった位置に取り付けてください。

5

1段目用棧木の取付

・1段目用棧木は受台の面より蹴込受材の厚み分(24mm)さがった位置に取り付けてください。



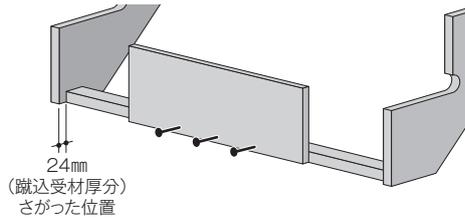
先行踏板の取付

【直部分】

① 1段目用棧木に

蹴込受材を付けてビスで固定

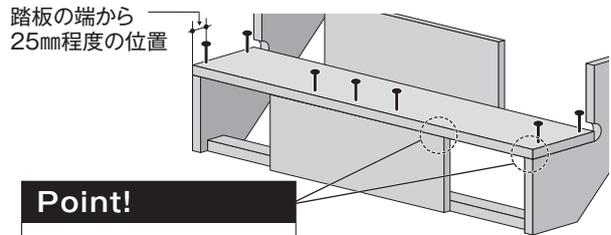
※1段目用の蹴込受材には
切欠き加工は施されていません。



先行踏板を乗せてビスで固定

⚠ 注意

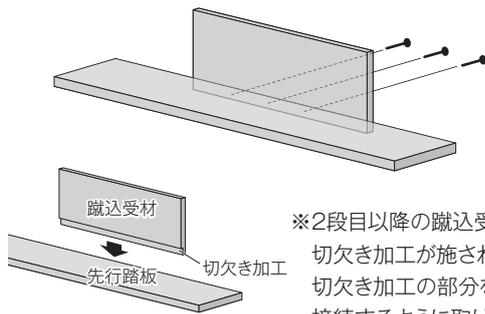
先行踏板のビス位置と、化粧踏板のビス位置が
重ならないように注意してください。



Point!

受台・蹴込受材・先行踏板
の面を合わせる

②～④ 下段の先行踏板に蹴込受材をつけ、 裏側からビスで固定

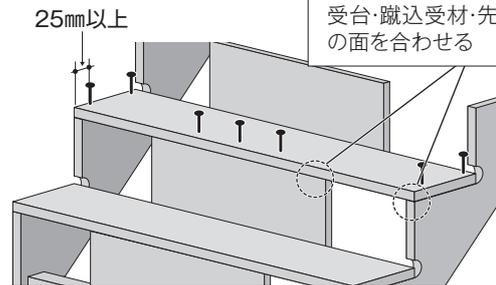


※2段目以降の蹴込受材には
切欠き加工が施されています。
切欠き加工の部分を先行踏板に
接続するように取り付けてください。

先行踏板を乗せてビスで固定

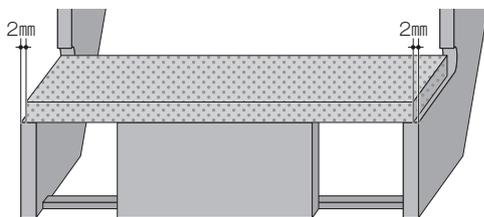
Point!

受台・蹴込受材・先行踏板
の面を合わせる



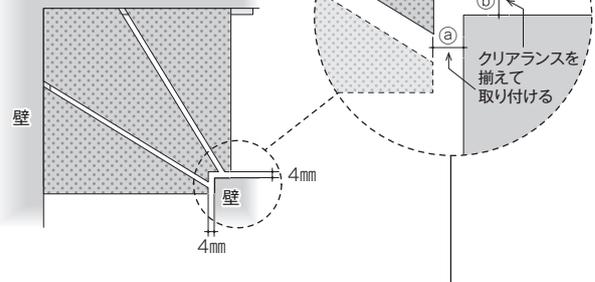
先行踏板 クリアランス寸法

【直階段用】



【廻り階段用】

真上から見た図

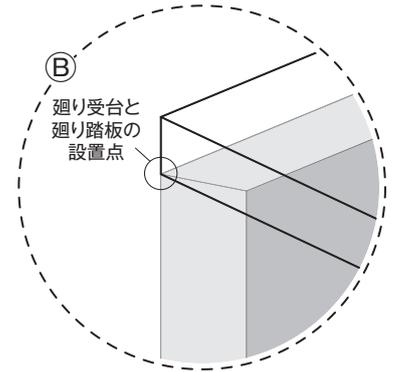
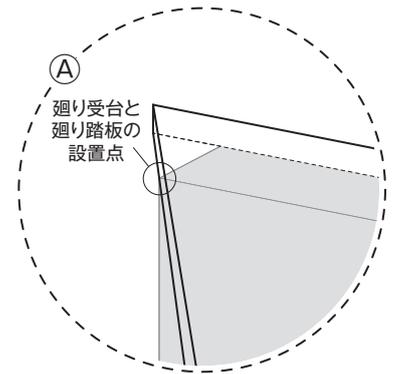
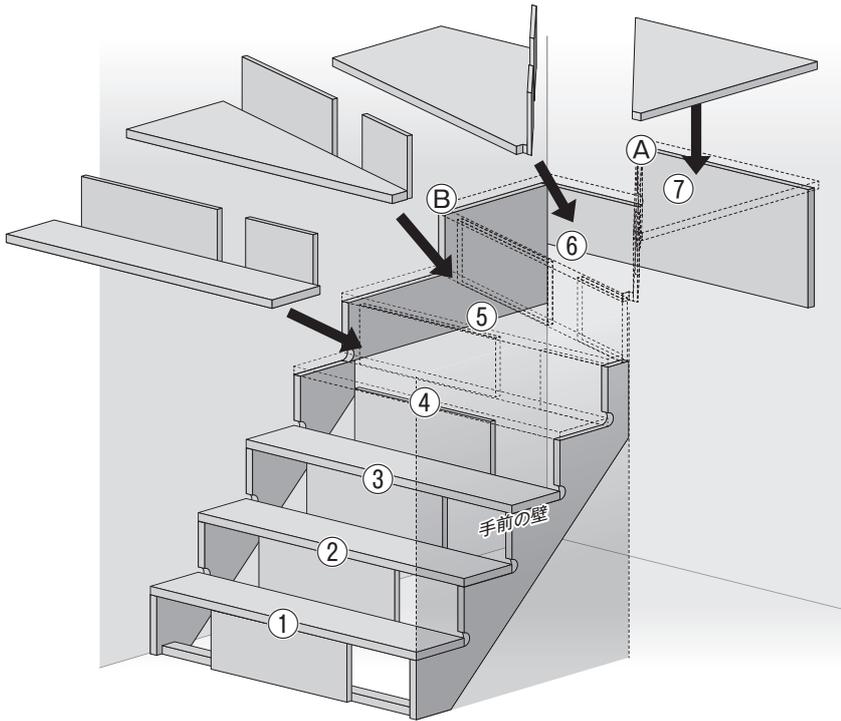


Point!

軸心部分のコーナーにまたがるくちばし状に加工された踏板
を取り付ける際は、クリアランス①②を揃えておくと化粧踏板
がよりきれいに納まります。

※L型プレカット巾木の場合、内廻りに巾木がないため壁との間にスキ間が
生じる場合があります。

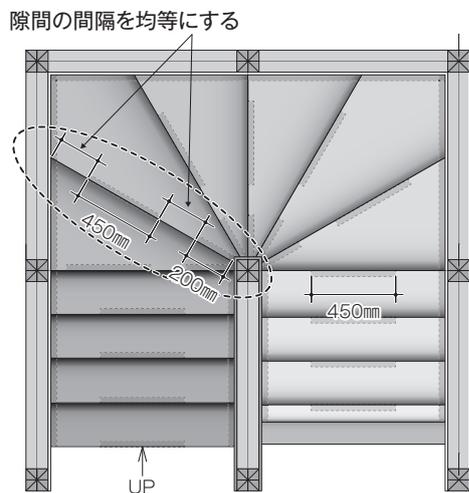
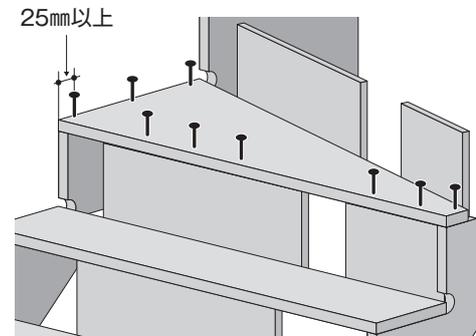
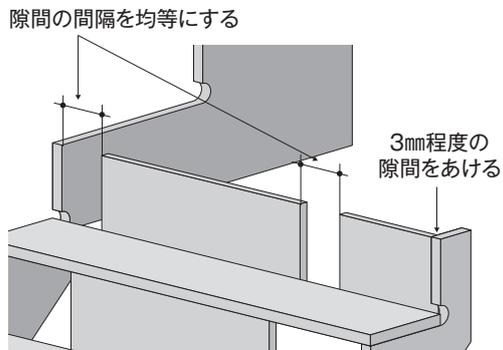
【廻り部分】



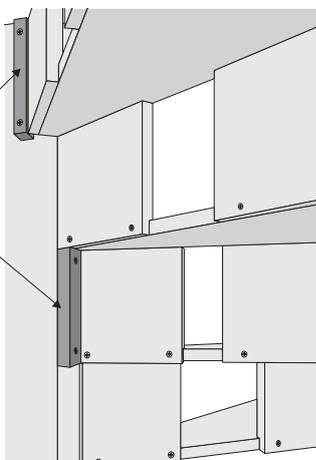
⑤～⑦ 蹴込受材の取付

※①～④とは異なり、蹴込受材を大小2枚使用します。

先行踏板を乗せてビスで固定



廻り踏板用補助受材
品番:LA91D10-M-A
¥320/個(税抜)



補強について

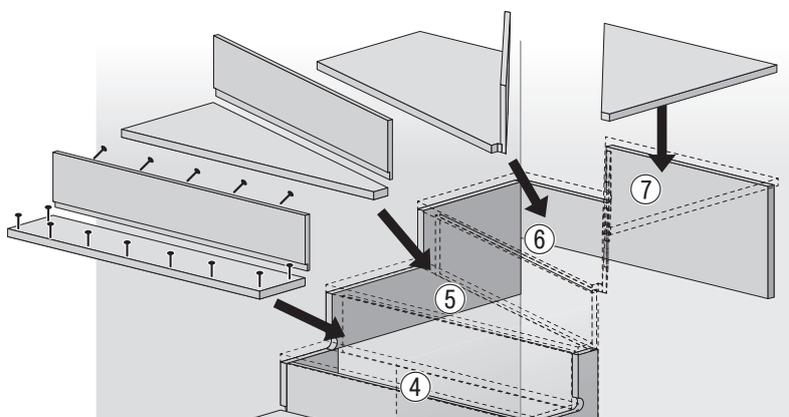
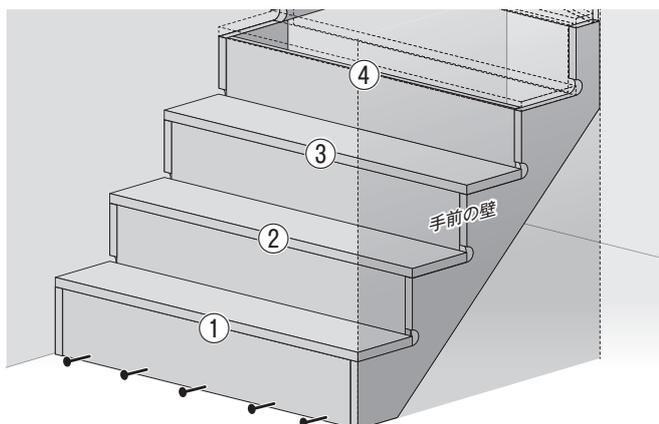
先行階段取り付け後、補強を行ってください。

- ・たわみ等が見られる場合は増ししめ及びビスの追加にてたわみ等のないようにしっかりと補強を行ってください。
- ・折返し階段等のように廻り部分が90度以上ある場合は図のように踏板の下に補強用材(現場調達品)もしくは廻り踏板用補助受材(オプション品)をセンター柱側と踏板下側よりビスで取り付けし、補強を行ってください。

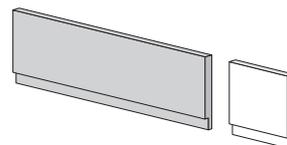
⚠ 注意

合板には個体差がありますので
左図以上に補強が必要になる場合があります。

蹴込受材ワイドを使用する場合



※蹴込受材ワイドの
長さ方向は
現場カットとなります。



化粧階段の取付

⚠ 注意

化粧階段を取り付ける前に、必ず先行階段の表面をよく清掃してください。その際、木ズヤやビス頭等による突起物がないかもよく確認してください。隙間の発生や接着不良の原因となります。

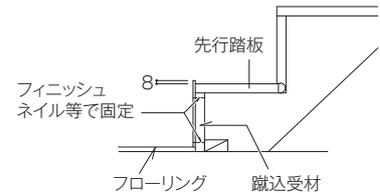
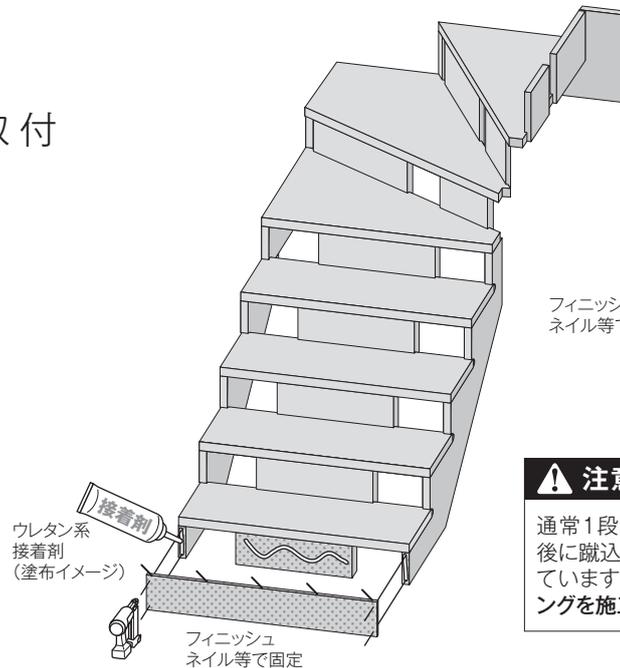
手順

1

直部分の取付

1段目化粧蹴込板の取付

- ・1液ウレタン系接着剤 I W330 (ZY1211:別売品)で蹴込板を貼り付けます。
- ・巾木等で隠れる位置にフィニッシュネイル等で固定します。フィニッシュネイル(30mm)の施工位置は図を参照してください。

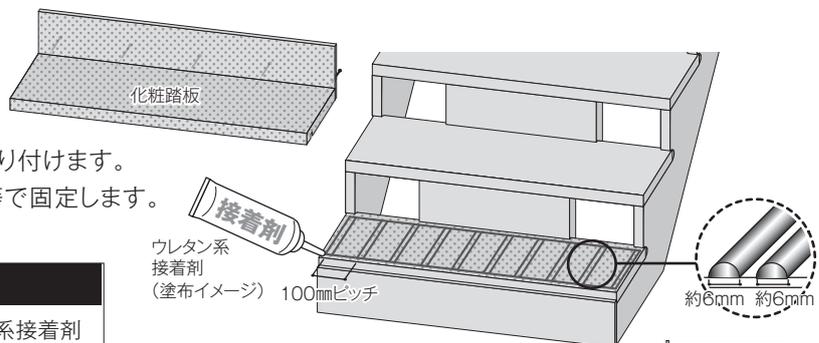


⚠ 注意

通常1段目の蹴込板は、フローリングを施工後に蹴込板を取り付けるようにプレカットされています。化粧階段の取付は、必ずフローリングを施工した後に行ってください。

化粧踏板の取付

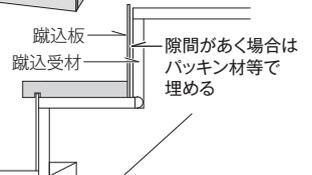
- ・先行階段に取り付ける前に踏板と蹴込板を先にビスで固定します。
- ・蹴込板と同様に接着剤 I W330 (ZY1211:別売品)を塗布し化粧踏板を貼り付けます。
- ・巾木等で隠れる位置にフィニッシュネイル等で固定します。



⚠ 注意

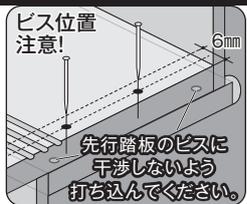
化粧踏板を取り付ける際は、先行踏板にウレタン系接着剤を約100mmピッチで2本ずつ、できるだけ近づけてしっかりと塗布してください。接着剤の量が不足すると、音鳴りや収縮によるスキ、割れが発生する可能性があります。受台、蹴込受材と化粧踏板の突き合わせ部分にもウレタン系接着剤を塗布してください。

※最初に踏板を仮置きにして、蹴込受材と蹴込板の間に隙間があく場合は、蹴込受材と蹴込板の間にパッキン材等を入れて隙間を埋めてください。



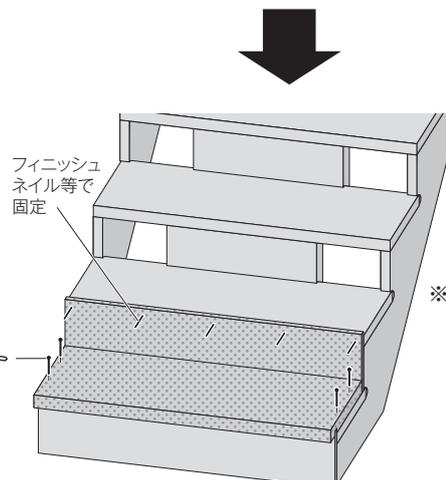
⚠ 注意

踏板固定用の専用ビスを打ち込む際は、ネジ径の80~85%の下穴を開けてください。また、踏板の化粧面に傷がつかないように、十分ご注意ください。



Point!

踏板の専用ビスでの固定は、ビス頭がなめる可能性がありますので、電動ドリルのビットは、100mm程度以上のものをご使用ください。

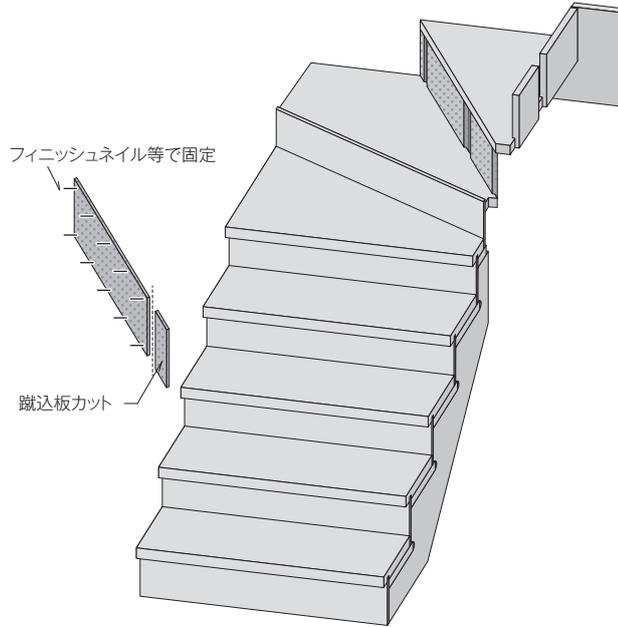


※踏板を階段裏からビス止めする場合、専用接着剤(1液ウレタン系接着剤)を併用してビス固定をしてください。ビスの間隔は、約150mmピッチ以下で行うことをお勧めします。

廻り部分の取付

蹴込板の取付

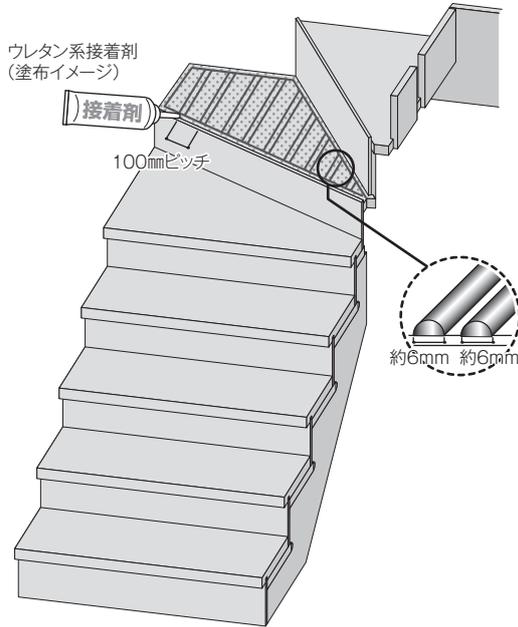
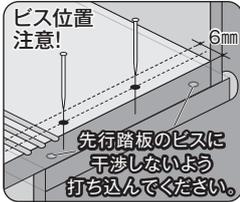
- ・蹴込板は寸法に合わせて現場カットしてください。
- ・3段廻り階段の2段目等、コーナーをまたぐ箇所は、蹴込板と踏板を別々に取り付けてください。
- ・直部分と同様、巾木等で隠れる位置にフィニッシュネイル等で固定します。



廻り踏板的取付

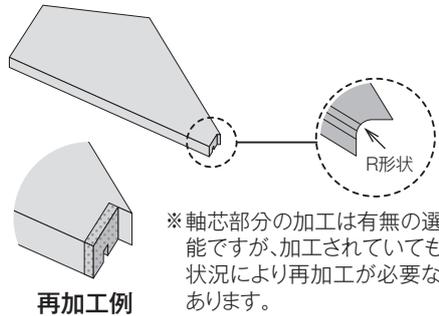
注意

踏板固定用の専用ビスを打ち込む際は、ネジ径の80~85%の下穴を開けてください。また、踏板的化粧面に傷がつかないように、十分ご注意ください。

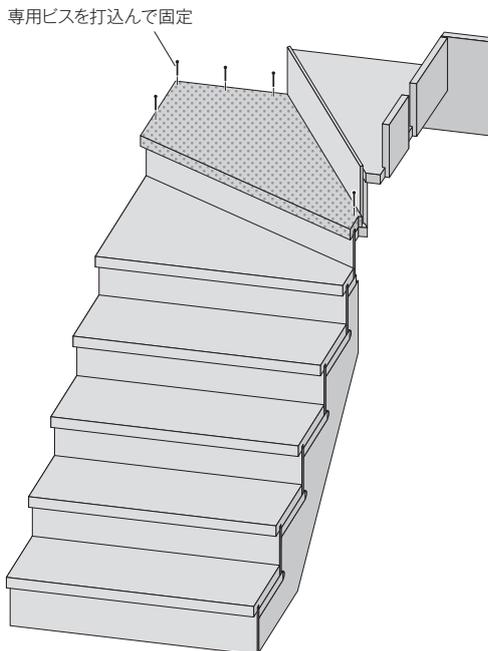


注意

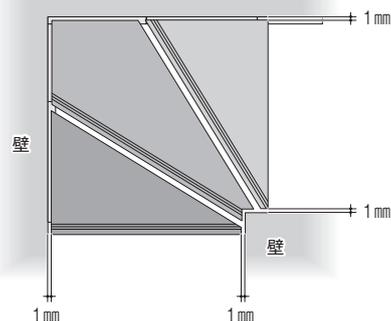
化粧踏板的を取り付ける際は、先行踏板上にウレタン系接着剤を約100mmピッチで2本ずつ、できるだけ近づけてしっかりと塗布してください。接着剤の量が不足すると、音鳴りや収縮によるスキ、割れが発生する可能性があります。受台、蹴込受材と化粧踏板的の突き合わせ部分にもウレタン系接着剤を塗布してください。



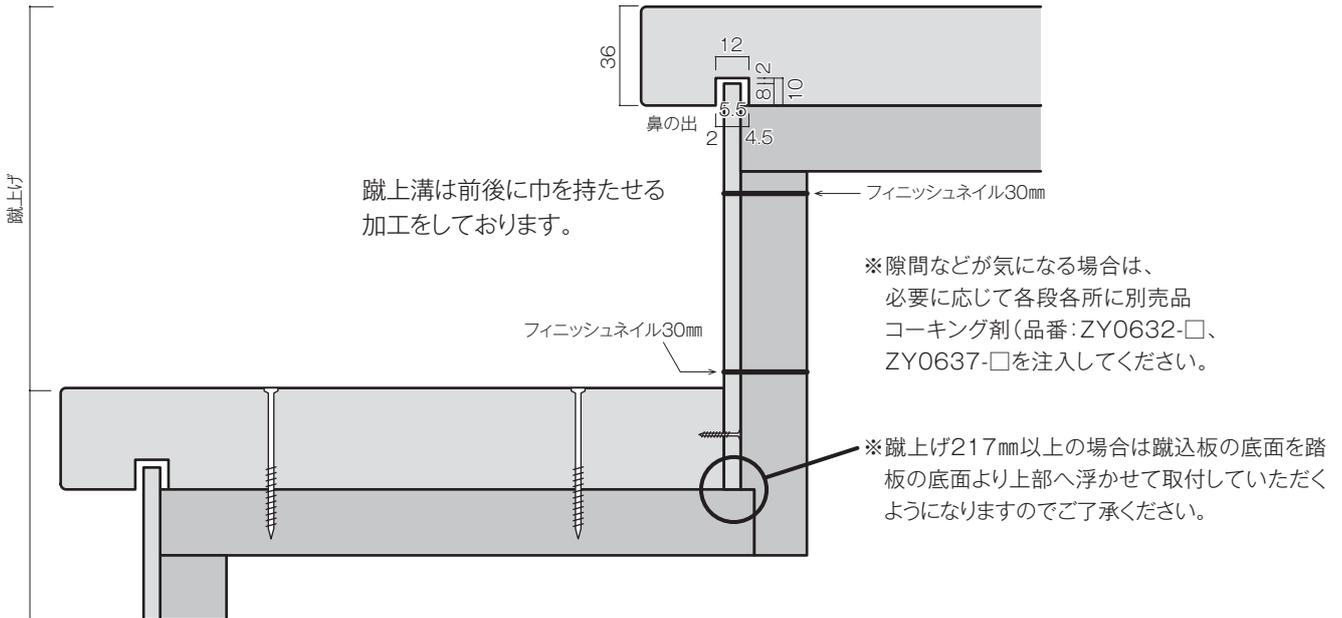
※軸芯部分の加工は有無の選択が可能です。加工されていても現場の状況により再加工が必要な場合があります。



真上から見た図



化粧部材納まり図 ※蹴板厚36mmの場合



手順

3

上段框の取付

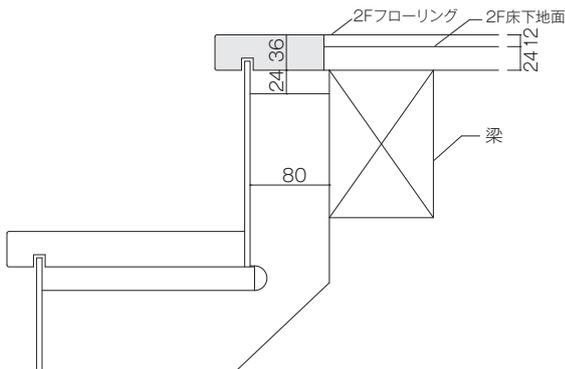
⚠ 注意

上段框は現場の梁の位置によって納まりが違います。建築図面、現場監督者に確認の上で上段框の納まりを決定ください。また、納まりに応じて上段框部分に使用する先行踏板は現場カットしてください。

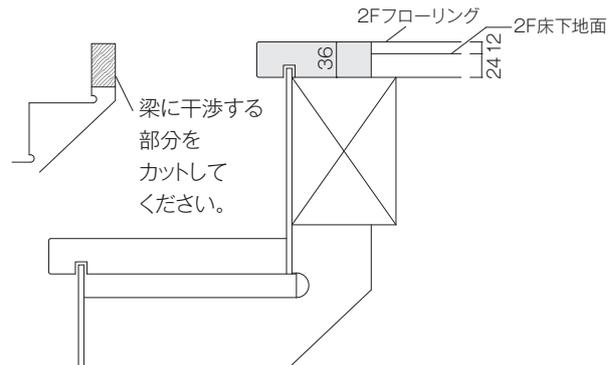
参考納まり (2階フロア厚12mm、床版24mmの場合)

※2F床:12mm 床下地:24mmの場合の納まり図になります。

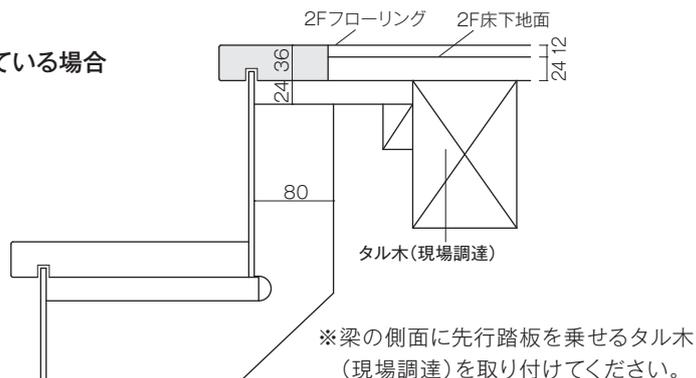
受台上段框加工を活かした場合



受台上段框加工と梁が干渉する場合



受台上段框加工と梁が離れている場合



施工終了後

養生の方法

- 施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。
- 市販のガムテープ等は粘着が強く、化粧単板および塗装のハガレの原因になりますので、別売の養生テープ（品番：ZY0211）をご使用ください。
- 鼻の出裏面には養生テープを使用しないでください。

お手入れのしかた

- 階段が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。
- 自然塗料塗装の製品については、水分は厳禁です。毛羽立ち・白化・シミ等の原因となるおそれがあります。お手入れの際は必ず別売の「自然塗料お手入れワックス(グラノス)」をご使用ください。

使用説明書の手渡し

同梱の「使用説明書」を使用される方にお渡しください。使用される方が不在の場合は、施主様に依頼するか製品に貼り付ける等により必ず使用される方に届けられるようご配慮願います。